

科目名称	基礎看護学実習Ⅰ（コミュニケーション）	学年学期	単位数	時間数
		第1学年 後期	1	45
担当教員	藤原 恵子	授業に関わる 実務経験	☒ 有（看護師） ☐ 無	

【1】授業概要

本実習では、対象の治療の場、及び療養生活の場において、対象の生活や環境を理解し、療養生活を送る対象とのコミュニケーションのあり方を学ぶ。また、看護師の看護活動の実際を見学し、看護師の役割や責任を理解する。

【2】学習目標

1. 対象を取り巻く環境を説明することができる。
2. 対象者とのコミュニケーションを通して、看護におけるコミュニケーションの意味と方法を理解できる。
3. 実際の看護場面から看護師の役割を説明することができる。
4. 実習を振り返り、自己の課題を明確にすることができる。

【3】第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
- 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
- 3. 地域の特性を看護に生かす力
- 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
- 5. 主体的に学び続ける力

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1 ～ 5 日 目	・オリエンテーションを通して、病院や病棟の構造・設備・特性を知る。 ・看護師のシャドーイングを通して、患者とのコミュニケーションや観察からの情報収集の方法を理解する。 ・担当患者とのコミュニケーションを通して、看護におけるコミュニケーションの意味と方法を考える。 ・看護場面の見学を通して、看護の機能と看護師の役割を考える。 ・ミニカンファレンスで学びを共有する。（1～4日目） ・最終日には反省会で実習での学びのまとめを報告しあう。（5日目） ・実習を振り返り、今後の自己の課題を明らかにする。	臨地実習

【5】評価方法

基礎看護学実習Ⅰの評価基準に従い、実習での取り組み、実習記録、実習前から実習後までの学習状況から、学生・教員（実習指導者評価所見含む）で評価を行い、60点以上を合格とする。

【6】教科書

実習オリエンテーションで配付した資料および実習要綱

【7】参考書

必要時随時確認を行う。

【8】受講生へのメッセージ

臨地実習は、対象者・看護師から多くを学ばせていただきます。誠実な態度で実習に臨みましょう。